

# 絵葉書にみる

## ひがしの 今・昔



## 『絵葉書にみるひがしの今・昔』について

東部地区活性化実行委員会※は、長崎市東部地区の過去の風景、生活の様子、祭事などを収めた貴重な写真や映像をデジタル化し、蓄積・長期保存のうえ、様々な方法で活用していくことで地域愛の醸成につながる『ひがしデジタルアーカイブ』に取り組んでいます。

今回のテーマは“絵葉書”。

東部地区で、昔賑わっていた名所や、今では絶対に見られない風景、あるいは今もほとんど変わらない景色が絵葉書として現代に届けられています。現在の写真は、できるだけ同じ場所から同じ角度で、山や島の稜線を意識しながら撮影しました。どうぞ見比べてみてください。

当実行委員会は、地域活性化を目的としたデジタルアーカイブ事業として、東部地区ゆかりの古写真や貴重な映像を収集していますので、古写真等をお持ちの方でご協力いただける方は、東総合事務所地域福祉課までご連絡ください。

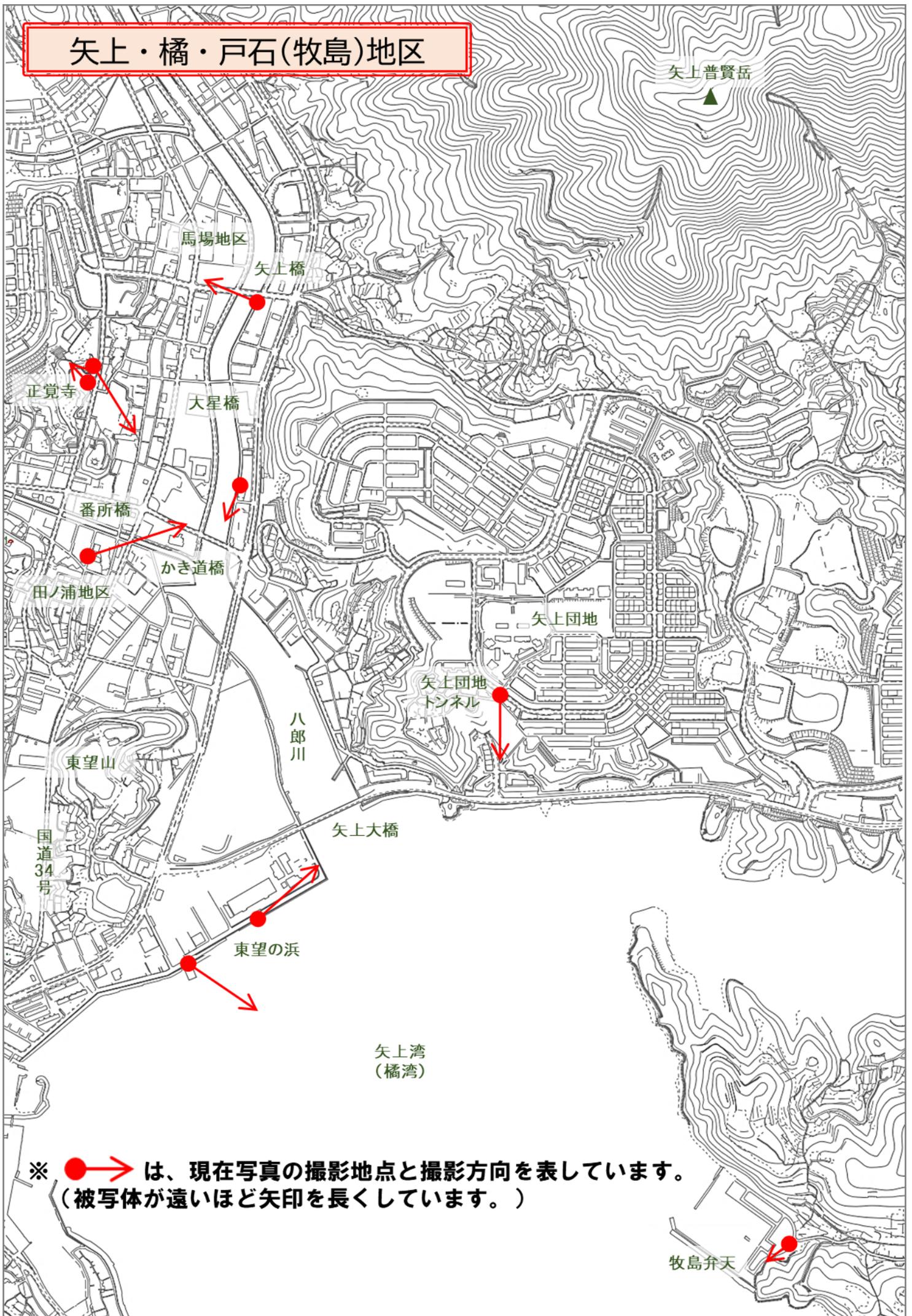
※東部地区活性化実行委員会…東部地区の活性化を目的として各地区（日見、矢上、古賀、戸石、橘、高城台）の代表者で組織する会議です。ひがしデジタルアーカイブは、長崎市東総合事務所との連携事業です。

### 【協力・参考】

- |          |   |
|----------|---|
|          | ありがとうございました。  |
| ◆監修・写真提供 | 織田武人氏(諫早史談会)  |
| ◆取材協力    | 渡邊一則氏・小川憲一氏（松楓園について）  |
| ◆撮影協力    | 正覚寺、プリアデス東長崎管理組合  |
| ◆説明文参考   | 記念誌『2000年の東長崎』（東長崎地区自治会連合会発行）<br>国土交通省九州地方整備局ホームページ<br>長崎市公式観光サイト travel nagasaki |

東部地区活性化実行委員会  
長崎市東総合事務所地域福祉課  
事務局 ☎095-813-9001

# 矢上・橘・戸石(牧島)地区



矢上普賢岳

馬場地区

矢上橋

正覚寺

大星橋

番所橋

かき道橋

田ノ浦地区

矢上団地

矢上団地  
トンネル

八郎川

東望山

矢上大橋

国道  
34号

東望の浜

矢上湾  
(橘湾)

※ ●➡ は、現在写真の撮影地点と撮影方向を表しています。  
(被写体が遠いほど矢印を長くしています。)

牧島弁天

## 日見(芒塚)地区



## 古賀(中里)地区



## 高城台(間の瀬)地区



※ ●→ は、現在写真の撮影地点と撮影方向を表しています。(被写体が遠いほど矢印を長くしています。)



望遠ノ洋阜天（景風上矢）

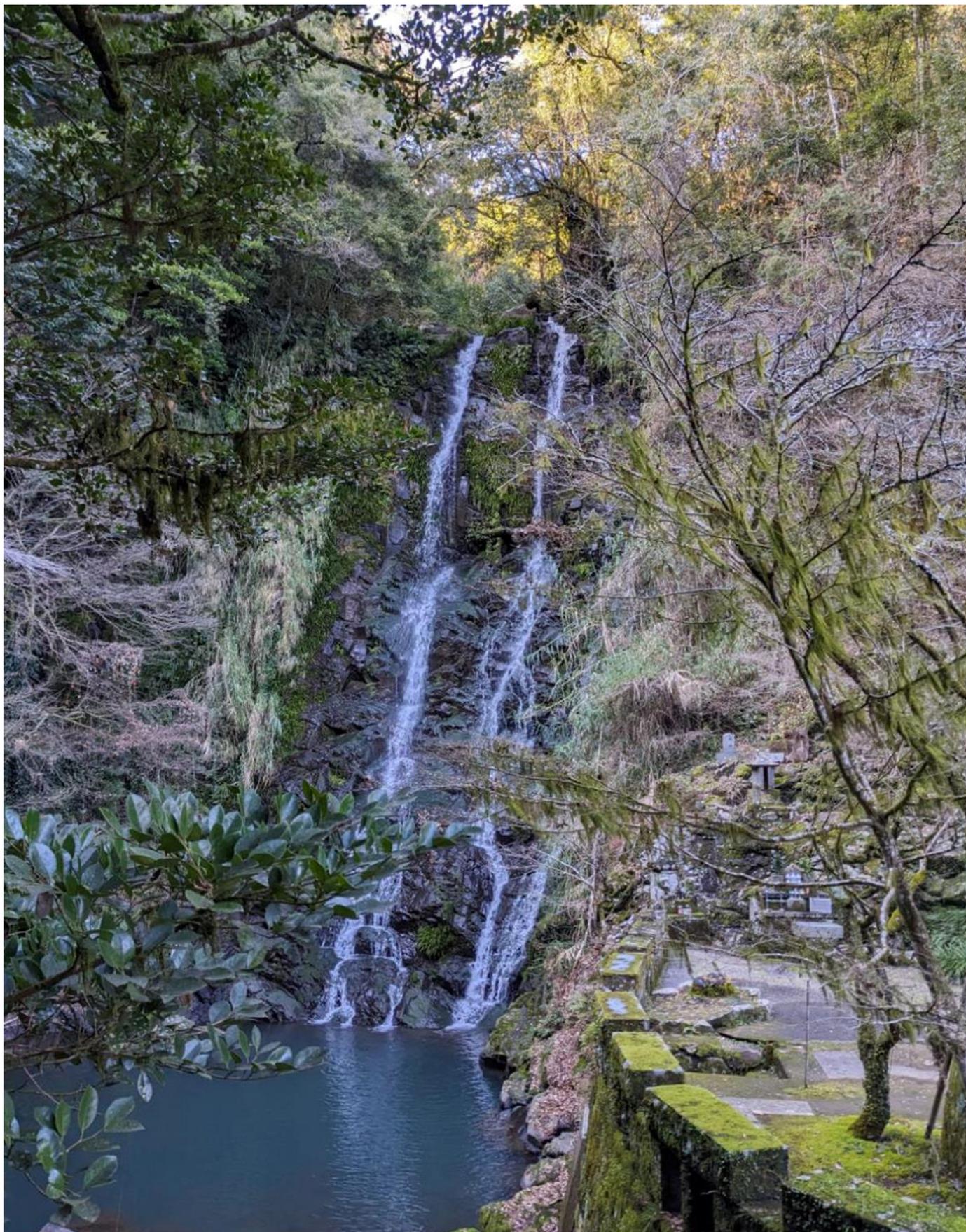
『(矢上風景) 天草洋ノ遠望』 (撮影時期：大正期)



正覚寺付近から八郎川の河口方面を撮影。もともと広くて浅い八郎川は、昭和 57 年(1982)の長崎大水害以降、大規模な整備が施されました。矢上大橋は昭和 60 年(1985)に供用開始されました。



『(矢上風景四) 瀧観音ノ瀧』 (撮影時期：大正期)



県指定名勝の滝の観音。伝説では平安時代に空海が滝の崖に観音の梵字を書いたのが滝の観音の最初といわれています。長崎大水害(1982)により流失した石橋は、関係者の努力により5年後に復元。



『松茸名所古賀松楓園（一）』（撮影時期：昭和10年代？）



看板石に  
“松楓園”  
と刻まれて  
います。



丘の上の様子

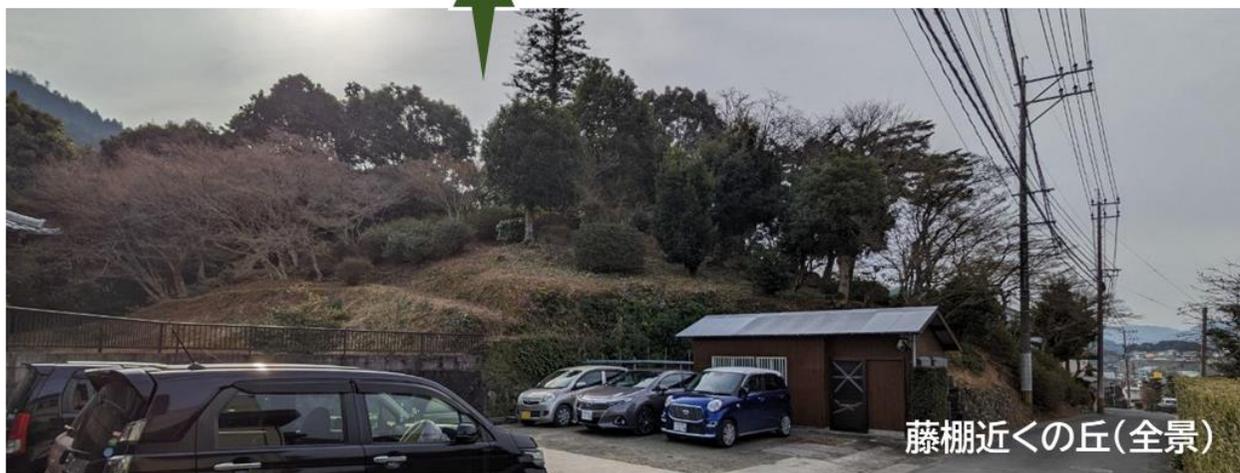


(表紙)



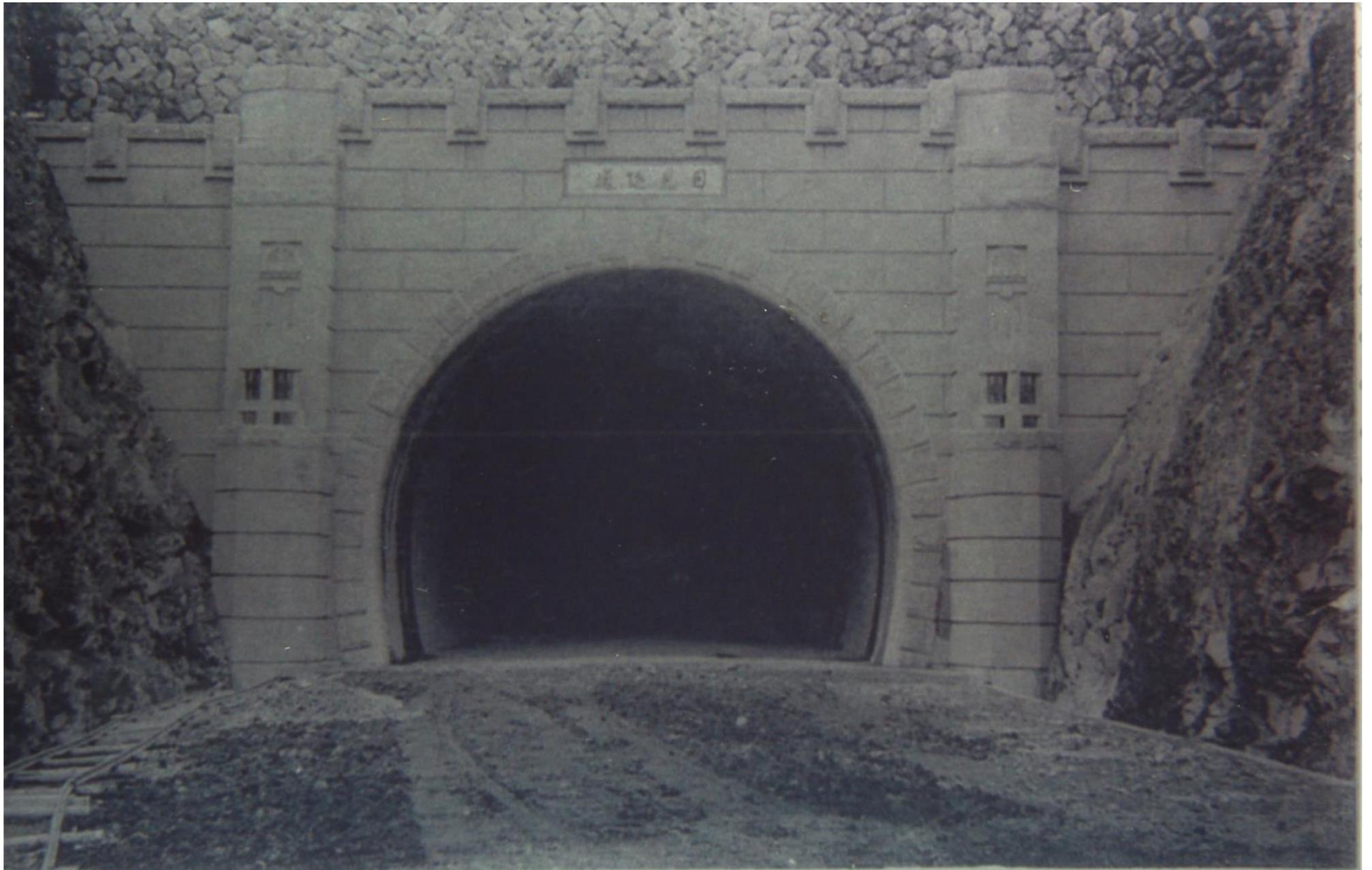
(裏表紙)

松楓園の  
収入台帳



藤棚近くの丘(全景)

“松楓園”と刻まれた看板石が古賀の藤棚付近に現存し、丸山や三菱から来た客人の名前が記された大正14年時の収入台帳も大切に保管されています。古写真は藤棚近くの小高い丘の上で撮影されたものと思われます。



(行發縣崎長) 門坑口東道隧見日道國號五十二

『二十五號國道日見隧道東口坑門』 (攝影時期：大正期)



日見トンネルは、県が大正13年(1924)に着工し、2か年で完成しました。全長642m幅員7.4mは当時日本最大規模。坑口のデザインは大正期の様式を色濃く残しており、平成14年(2002)に国の登録有形文化財になりました。



(行發縣崎長) ム望ヲ道國舊近附口東リヨ峠

『峠ヨリ東口附近舊國道ヲ望ム』 (撮影時期：大正期)



勝海舟が『海舟日記』に“甚だ難所”と記した西の箱根・日見峠。古写真は、明治15年(1882)に完成した日見新道(明治新道)の七曲りを撮影しています。現在写真の長崎自動車道とのツーショットは道路交通の歴史を感じさせます。



VIEW OF BEACH TOBO, YAKAMI

濱房東 (十景風上矢)

『(矢上風景十) 東房濱』 (撮影時期：昭和初期頃)



東望の浜は、以前は砂浜で海水浴場として賑わいましたが、海水の汚染騒ぎや濁りなどにより昭和41年(1966)に廃止。その後、企業誘致のため、昭和43年から48年にかけて約20万平米が埋め立てられました。



THE SWIMMING BEACH TOBO, YAKAMI

會泳遊ノ濱房東(一十景風上矢)

『(矢上風景十一) 東房濱ノ遊泳會』 (撮影時期：昭和初期頃)



大正3年(1914)長崎日々新聞社「海水浴場人気投票」。第1位…東望の浜  
293,309票、第2位…戸楽の浜261,973票、第3位…瀬戸168,892票  
(『2000年の東長崎』より)※戸楽は五島市、瀬戸は西海市の海水浴場と思われます。



『矢上蠣道梅林』 (撮影時期：大正期)



現在の写真は矢上団地トンネル上の住宅街から撮影しました。以前はこちら  
一帯が梅林だったそうで、時期になると多くの見物客で賑わっていたとのこ  
と。古写真には1組のカップルがいるように見えます。



『矢上普賢岳全景』（撮影時期：大正期）



古写真は田ノ浦の高台から矢上普賢岳方向を撮影したものと推察されます。古写真の番所橋は大正12年(1923)架設の3代目と思われます。現在の橋は昭和61年架設の4代目。橋名は役人の番所が付近にあったことが由来です。



THE SHOGAKUZENJI TEMPLE, YAKAMI

寺禪覺正（二景風上矢）

『（矢上風景二）正覺禪寺』（撮影時期：大正期）



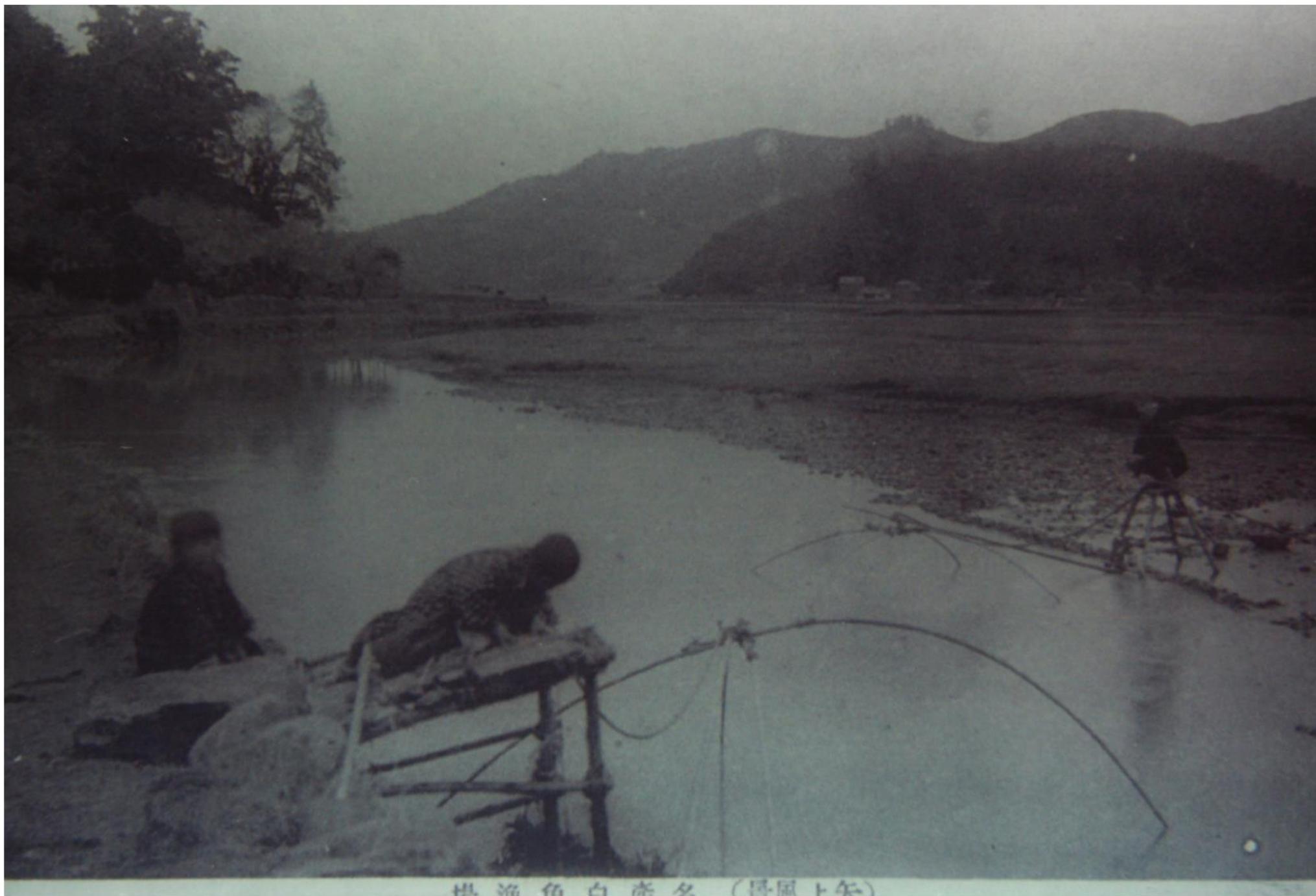
こちらは矢上町の正覚寺。享保20年(1735)創建の曹洞宗のお寺です。境内には、千匹猿、千俵、朽木に蜘蛛巣などの図柄の鍔を製作した有名な鍔師・野田光廣の墓があります。



『(矢上風景) 丹攀注入』 (撮影時期：大正期)



八郎川右岸・馬場地区の矢上橋たもと付近の土手の補修のために、丹礬(たんぱん、硫酸銅のこと)を資材に注入している作業の様子を撮影したものと思われます。座っているはかま姿の人物は現場監督の役人さんでしょうか。



名産白魚漁場 (上午風景)

『(矢上風景) 名産白魚漁場』 (撮影時期：大正期)



八郎川は白魚の名産地として知られ、大星地区(かき道一丁目)の河岸ではこのような白魚漁がおこなわれていました。山の稜線から古写真の撮影場所は、この付近(現在の大星橋からかき道橋までの間)と推察されます。



『(矢上風景六) 辨天鼻』 (撮影時期：昭和初期頃)



撮影場所は牧島弁天。楽しい海水浴というより、何か訓練のような雰囲気  
の集合写真ですね。付近一帯は近年になって埋め立てられ、鳥居も半分埋もれ  
ていますが、現在も地元住民により大切に保存されています。